

☐ ソフト事業のみ
 ☒ ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和5 年度

市町村名	小鹿野町		
提案事業名	おがの化石館リニューアル事業		
事業期間	令和5 年度	～	令和5 年度
事業の必要性、目的	「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」は、日本列島形成期の地層と生物相を示した貴重な天然記念物であり、当町に所在する「ようばけ」は埼玉を代表する地層となっている。化石館は「ようばけ」の至近にあり、ガイダンス施設の役割が求められているが、新たに評価された化石の説明や解説パネルの等、博物館の性格が弱かった。そのため、展示改修を行い、イベントを開催することで、小鹿野町の地質遺産を活かした地域活性化を行う。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) ワークショップ等のイベントを行った回数と参加者数		
	(成果検証の具体的な方法) 令和4年度に小鹿野町が実施したイベント数および参加者数を、ソフト事業及びリニューアル事業実施後のものと比較する。		
	(上記の指標を設定した理由) 化石館を古秩父湾に特化させることで、より小鹿野町の地質資産に関わるイベントを開催しやすくなる。また本事業の目的が、小鹿野町の地質遺産を活かした地域活性化であるため		
	(成果の目標値)		
	現状値 (令和4年度)	イベント回数：3回 イベント参加人数：51名	目標値 (7年3月時点) イベント回数：10回 イベント参加人数：250名
	(施設建設等の場合)		
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)
住民への公表方法 及び特記事項	町HPによる公表		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和5年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① おがの化石館 古秩父湾魅力 化事業	ソフト 町の社会教育課職員(学芸員)や地域おこし協力隊員、おがの化石館アドバイザーなどが講師となり、ワークショップや見学会などのイベントを開催する。リニューアル事業実施後はより古秩父湾に特化したイベントの開催が可能となり、おがの化石館との親和性も高まる。	630
② おがの化石館 展示改修事業	ハード おがの化石館の展示改修を行う。新しい展示物として、「古秩父湾」の時代に当地域に生息していた「オガノヒゲクジラ」頭骨化石および「チチブサワラ」の骨格化石及び生態復元模型を製作・展示を行うほか、展示パネルの改修等を行う。 新たな展示物はサイズが大きく、理解を促すためにはわかりやすい解説を付して展示すべきである。しかし、現在のおがの化石館は展示スペースに余裕があまりなく、通路動線上にも展示ケースが置かれている状況となっている。さらに展示環境としても、日光が展示物に直接当たる状況になっている。そのため展示スペースの大幅な改修を行うことで、展示物の保全及び、古秩父湾の時代背景に即した展示にリニューアルするとともに、来館者の見やすい環境も整える。 これにより、おがの化石館と古秩父湾の親和性が高まり、イベントの活性化に繋がる。	3,850
③	ハード ソフト 間接補	
合計		4,480

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための 具体的な方策	イベント開催について、古秩父湾との親和性が高まることで新たなニーズを発掘するとともに、積極的な広報を行うことで目標達成を目指す。
成果指標の達成見込み	上記方策により達成が見込まれる。また、イベント開催を通じて、地質学に興味を持ってもらい、化石館への来訪者、特に再来訪者の増加や教育旅行等の学校及び社会教育での利用増も図るものとする。